

子宮頸がん検査

※神戸市子宮頸がんはこの検査です

◆どんな検査？

子宮の入り口付近の粘液細胞に異常があるかを調べる検査です

◆対象者

性交経験が1回でもあれば、10代でも毎年受けてほしい検査です

◆検査方法

膣鏡を挿入し、専用のブラシで子宮頸部をこすり細胞を採取します。
採取した細胞を顕微鏡で観察して異常の有無を調べます。

◆検査の見方

細胞診の結果は、ベセスダ判定で分類されます。

経膣超音波検査

◆どんな検査？

膣内にプローブ（棒状の細い器具）を挿入し、はね返ってくるエコーを画像化して、子宮や卵巣などの状態を調べる検査です。

子宮や卵巣の位置、大きさ、子宮筋腫や子宮内膜の異常、卵巣腫瘍の有無などがわかります。

◆対象者

子宮や卵巣の状態を知りたい方
※年齢は関係ありません

◆検査方法

下着を脱いで、内診台に乗り、指の太さほどのプローブを直接膣内に入れてモニターで観察します。



※通常、子宮がん検診は超音波検査は入っていません。

今や婦人科の超音波検査は、現代女性に多い子宮筋腫や子宮内膜症、卵巣のう腫(しゅ)など、子宮や卵巣のトラブル・病気を知るのに欠かせません。

痛みもなく、簡単に安全にでき、自分でもリアルタイムで子宮や卵巣の様子を確認することができますので、安心して検査を受けてください。